

特別緊急版!!

おじさんの眼

—— ロフト席亭 平野悠 ——

第103回◎「下北沢キャンドルライトデモンストレーション報告」

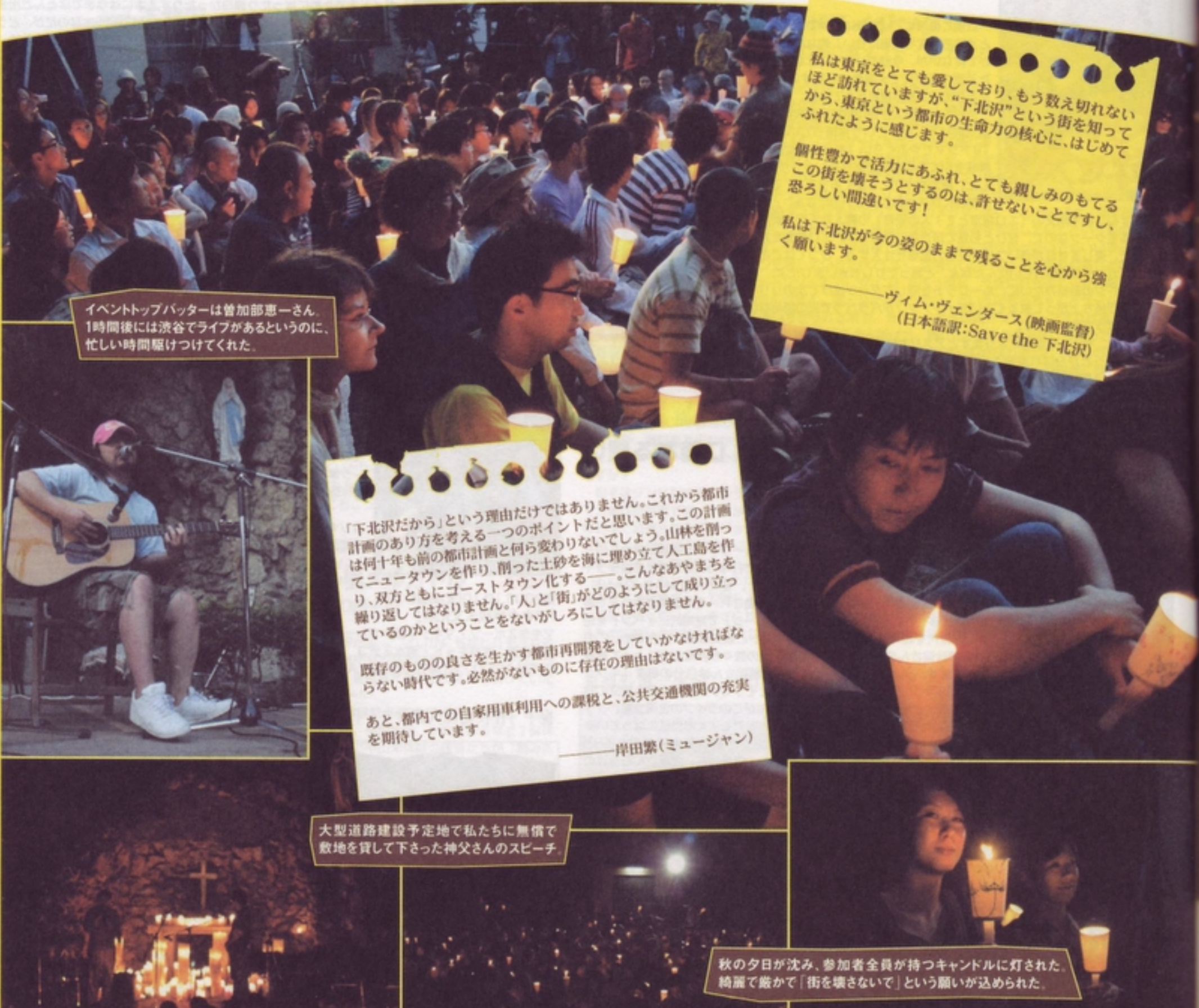
下北沢がローソクの愛の灯に包まれた一夜

「下北沢をつなぐ光の輪の中に、あなたも加わりませんか? 多くの人々に愛されている下北沢。ところが今、この街は大規模な再開発計画の危機にさらされています。このイベントは、下北沢の路地から路地をキャンドルライトで静かに照らし、下北沢の魅力をみんなで再確認しようというもの。下北沢にゆかりのあるアーティストによる音楽、ポエトリー・リーディング、ライブペインティング、舞踏など、下北沢が培ってきた文化の力と、街によせる人々の思いを集める静かな光の夕べを開催します。秋の夕べの90分間、この街をつなぐ光の輪の中に、あなたも加わってみませんか? 会場となるのは、幅26メートルの道路予定地の中にある世田谷教会の中庭です。」

これは、キャンドルライトデモンストレーションのフライヤーに書かれたメッセージだ。

主催は「Save the 下北沢」という市民グループ。路地が入り組み、歩いて回るのが楽しい街である下北沢に、現在、幅26mもの巨大道路を造る計画が進行中で、それに意義を唱えている。その運動の一貫として、9/23(土)、少し肌寒くなってきた初秋の夕べに、このピースフルなイベントが行われた。

集合場所の世田谷教会では、夕暮れ時からライブスタート。もじょらいじんぐ横山、曾我部恵一、もりばやしみほ、原みどり、佳村萌&勝井祐二&辻コースケ、おおたか静流、Candle JUNE(キャンドルパフォーマンス)、戸田真樹(ライブペインティング)。約1時間半のライブが終わると、あたりはすっかり闇の中に。参加者は幻想的なキャンドルの光とともに、下北の街の思い思いの場所へと散って行った。



私は東京をとっても愛しており、もう数え切れないほど訪れていますが、「下北沢」という街を知ってから、東京という都市の生命力の核心に、はじめてふれたように感じます。
個性豊かで活力にあふれ、とても親しみのもてるこの街を壊そうとするのは、許せないことですし、恐ろしい間違いです!
私は下北沢が今の姿のまま残ることを心から強く願います。
——ヴィム・ヴェンダース(映画監督)
(日本語訳: Save the 下北沢)

イベントトップバッターは曾加部恵一さん。1時間後には渋谷でライブがあるというのに、忙しい時間駆けつけてくれた。



「下北沢だから」という理由だけではありません。これから都市計画のあり方を考える一つのポイントだと思います。この計画は何十年も前の都市計画と何ら変わりないでしょう。山林を削ってニュータウンを作り、削った土砂を海に埋め立て人工島を作り、双方ともにゴーストタウン化する——。こんなあやまちを繰り返してはなりません。「人」と「街」がどのようにして成り立っているのかということをないがしろにしてはなりません。
既存のものの良さを生かす都市再開発をしていかなければならない時代です。必然がないものに存在の理由はないです。
あと、都内での自家用車利用への課税と、公共交通機関の充実を期待しています。
——岸田繁(ミュージシャン)

大型道路建設予定地で私たちに無償で敷地を貸して下さった神父さんのスピーチ。



秋の夕日が沈み、参加者全員が持つキャンドルに灯された。綺麗で厳かで「街を壊さないで」という願いが込められた。

おれは、下北沢、好きだよ。

下北沢だけじゃなくて、壊したらもう戻ってこないもの——時間と言ってもいいし、歴史と言ってもいいけど、そういうものってほんとうに大事だよ。無くしたらもう二度と戻ってこないんだよ。築地にしてもそう。だから壊すな!

——坂本龍一(ミュージシャン)

大好きな街を壊されてなるものか! てくてく歩いて何かを見つける街、とぼとぼしょぼくれても誰かに逢える街、愛する音楽に巡り会った街、この街は生きてるんだよ! この街はふるさとなんだよ! 壊さないで!!!!

——おおたか静流(ミュージシャン)

下北を練り歩くのが好きだ。下北のカフェでぼんやりするのも。一人で、あるいは誰かと。下北の様々な店を冷やかしてまわるのも好きだ。もちろん下北で飲み食いするのも。真昼であれ深夜であれ早朝であれ、ふいに下北の空を見上げるのも大好きだ。

だから他所に(時に外国に)住む友人が東京を訪ねて来た時は必ず下北沢に連れてくる。案の定、彼や彼女はみんな下北が好きになる。それまでは東京や日本にうんざりしていた彼や彼女でさえ表情を変える。それはきっと、日本の他の都市や街ではほとんど死に絶えてしまった魔法が、そう、コミュニケーションの魔法が、下北沢にはいまだに宿っているからにちがいない。

いいかげん私たち日本人は「利便性」の先に存在する「野暮」や「荒廃」や「退屈」や「孤独」に自覚的にならなければならない。そして自分たちが社会を動かしてゆく力を有しているのだということにも。

環七みたいな道路? 冗談じゃないよ。

——桜井節茂(小説家)

キャンドルジュンさんのスピーチ

下北沢のお店の中でも...

応援してます。再開発、絶対するな、とは言わないけど、誰もが認めるシモキタの美点を根こそぎにするような、大昔の計画は、全くナンセンス! 日本中に増殖している、のっぺらぼうの街はもう沢山! 僕がよく通う、下北のあるカフェのマスターは、再開発反対の意思表示をしたとたん、何者かに深夜、店の扉を壊される嫌がらせにあったそうです。大プロジェクトの際には必ず利権絡みの汚ない悪徳が渦巻いているはず。いろんな人々の得意技を集めて街角を守っていきましょう!

——大熊ワタル(ミュージシャン)

もちろん私には防災から考えた云ひ分はよくわかりません。でも日本人はあまりにも無残で容赦なく、東京のあちこちにまだ残っていた日本独特の魅力ある町々をすでに壊しています。

下北沢を銀座や渋谷、新宿のようにして“これで世界におとらない一流の町になった”などと云って喜ぶオチさん達がたくさんいることを想像しただけで、ゲロがでます。

私の外人芸術家たち友達は、下北沢の魅力には取りつかれています。こわさないで、このザワザワ下北沢を、なんとかそのままに残しておいてください。

——フジ子・ヘミング(ピアニスト)

今月の米子

ご存じ、真ん中が米子です。上の段から順位の偉い中から場所が決まっている。一番上は野良で3歳で性格悪し。私からいつも逃げ回っている。誰がネコ街の資金出しているのか解っていない奴だ。一番下はスコッチッシュで孤独が大好き2歳。

評判いいですか! それはよかったあー。私も作ってみたいですね。でもやっぱり以前のやつらなかつたですね。誰か作ってだんじょうねえっ? ...私か。韓国料理! セー! 楽しみにしてますよ!

